

【担当課】

文化振興課 佐藤、松藤 直通842-3782

遠藤周作文学館 松村 直通0959-37-6011

遠藤周作生誕100年

**遠藤周作生誕100年に向け
記念事業スタート**

ロゴマーク&キャッチコピー



【ロゴマーク】

文学館のステンドグラスや遠藤作品の世界観をイメージする深い海を思わせるような青いステンドグラスを背景に、遠藤先生の似顔絵をモチーフにしたデザイン

【キャッチコピー】

「沈黙と好奇心の旅へ」

遠藤文学を連想させる「沈黙」という言葉と、遠藤先生のユーモアあふれる人物像を表現する「好奇心」という二つの言葉で、その多面的な魅力を伝えるとともに、「遠藤文学の世界への旅」と「文学館へのリアルな旅」の二つの旅に誘(いざな)うメッセージを込めている。

遠藤周作生誕100年

公式Instagram・Twitter・特設サイトオープン！

 <p>【遠藤周作名言集】 小説やエッセイ から選んだ 心に響く 名言を紹介</p>	 <p>【メッセージの紹介】 ゆかりのあった 作家や俳優などから 寄せられた メッセージを紹介</p>	 <p>【スタッフ推し本】 記念事業 スタッフの 推し本を紹介</p>	 <p>【特設サイト】 特別企画展や イベント情報 ゆかりの地などを 紹介</p>
---	--	---	--

【Instagram 投稿内容】

火曜日：遠藤周作名言集と題し、小説やエッセイの一説の紹介
または、著名人等から寄せられたメッセージ(抜粋)の紹介

木曜日：イベントや文学館からの風景の紹介

日曜日：生誕100年記念事業スタッフの推し本と題し、著書の紹介

【Twitter投稿内容】

火曜日：遠藤周作名言集と題し、小説やエッセイの一説の紹介

【Instagram、Twitter、特設サイトのQRコード】



Instagram



Twitter



特設サイト

遠藤周作生誕100年


講演会チラシ

記念講演会

竹下景子トークショー& 「夫の宿題」上映会

令和5年3月25日（土）
開場：13時 開演：14時
会場：長崎ブリックホール
国際会議場

チケット好評販売中



遠藤周作生誕100年記念
竹下景子
トークショー&
「夫の宿題」上映会

作家・遠藤周作の人生とは――
知られざるその物語に迫る。
作家・遠藤周作の生誕100年を記念して、遠藤周作の人生と
妻子夫人との夫婦愛を描いたドラマ「夫の宿題」を上映。
ドラマで妻子夫人役を演じた竹下景子さんによるトークショーを
開催します。また、かつて長崎で行われた講演会に遠藤周作
自身が登壇した際の本人の発言を特別公開。

2023 3/25(土) 開場 13:00 / 開演 14:00
|会場| 長崎ブリックホール 3F 国際会議場 長崎市茂里町2-38

入場チケット | 全席自由 | 前売 1,000円 当日 1,500円
※長崎市市民会館の場内、場外（駅前）販売所があります。

「夫の宿題」制作総指揮・脚本・演出・監修 長崎ブリックホール文化センター（2019年11月～2020年10月）
演 出 竹下景子 出演 長崎市立文化センター 音楽 長崎市立文化センター 音楽

※本チラシは長崎ブリックホール文化センターの運営が主となり、長崎市文化センターが協賛をしております。長崎市の文化振興に貢献することを目的として発行しております。長崎市文化センターの協賛をいただいております。長崎市文化センターの協賛をいただいております。

主催 長崎市 共催者 長崎市文化センター
〒850-0001 長崎県長崎市 長崎市文化センター（2023年3月25日開催）
長崎市文化センター長崎市文化センター長崎市文化センター長崎市文化センター
TEL: 095-822-1111 FAX: 095-822-1111

1999年にテレビ放送された遠藤周作の人生と順子夫人との夫婦愛を描いたドラマ「夫の宿題」の上映会と、ドラマで順子夫人役を演じた竹下景子さんによるトークショーを開催します。

また、生前、長崎で行われた講演会に遠藤先生が登壇した際の肉声を特別公開します。

遠藤周作生誕100年


生誕100年特別企画展

生誕100年特別企画展 『100歳の遠藤周作に出会う』

【会期】
令和5年3月27日（月）～
令和6年9月26日（木）

【場所】
長崎市遠藤周作文学館

特別企画展チラシ



生誕100年特別企画展
100歳の遠藤周作に出会う
2023 3/27(月) → 2024 9/26(木)
期間時間 午前10時～午後5時（入館受付は午後6時まで）
休館日 12月29日～1月3日
料 金 一般 2000円（小・中・高校生 2000円）
1923年以前は別途料金
場 所 長崎市遠藤周作文学館

この企画展では、遠藤周作の文学と人生を振り返り、小説家・遠藤周作の文学世界と、狐狸庵として多くの人に親しまれた人柄に触れてもらうことで、愛読者から遠藤周作をまだあまり知らない若い世代まで、幅広い層に遠藤周作を身近に感じてもらいたいと考えています。

詳細については、決定次第、お知らせします。